



市場のここに注目!!

左傾化する米民主党と株式市場

はじめに

2020年には米国で大統領選が予定されていますが、それを意識してか、最近民主党内で急進左派的な主張が勢いを増しているようです。この問題は株式市場にも関係があるので、今回は民主党の左傾化を取り上げます。

民主党で見られる急進左派的な主張には下表のようなものがあります。

民主党関係者が提唱する急進左派的な政策

政策	主な提唱者
公立大学の授業料無償化	サンダース上院議員*
国民皆保険	サンダース上院議員*
富裕層への課税強化	ウォーレン上院議員
自社株買い規制強化	シューマー上院院内総務
グリーン・ニューディール	サンダース上院議員*
巨大テクノロジー企業の分割	ウォーレン上院議員
現代貨幣理論(MMT)	オカシオコルテス下院議員

*サンダース上院議員は民主党員ではないが、民主党の予備選に参加する予定
日経新聞などをもとに大和住銀投信投資顧問作成

過激化する民主党の主張

公立大学の授業料無償化や国民皆保険は前回の大統領選の民主党予備選でサンダース氏が主張した比較的穏健な政策ですが、これに対して今回は富裕層への課税強化、巨大テクノロジー企業の分割など、過激な主張が目立ちます。

懸念される株式市場への影響

そうした過激な政策の多くは、格差是正を目指すものなので当然といえば当然ですが、経済や株式市場にマイナスに働く可能性があります。市場参加者はこの点に注意することが必要でしょう。

(次ページに続きます)



(前ページからの続きです)

戦術的に過激な政策を打ち出す候補者も

もっともそうした過激な政策を唱える候補者が、すべて本気でそう思っているかどうかは別問題です。予備選の序盤では過激な主張で耳目を集め、徐々に現実路線にシフトするという候補者もいるでしょう。特に序盤のうちには気にしなくてよいかもしれません。

民主党の左傾化と株式市場

そうはいつても、市場関係者はこの問題を無視することはできません。例えば当コラムでは、これまでは単純に「トランプ氏再選 = 株価にマイナス」、「民主党勝利 = 株価にプラス」と考えていましたが、今後は民主党政権が誕生した場合の経済や株式市場への影響にも注意を払う必要が出てきたと考えています。現在の株式市場の注目点は米中交渉とブレグジットですが、そのあとは民主党の予備選が今後のテーマとなる可能性もあると考えています。

門司総一郎（経済調査部 シニア・エコノミスト）

略歴

東京大学法学部卒業
1985年大和証券入社
1987年大和投資顧問(現、大和住銀投信投資顧問)転籍
雑誌、新聞の執筆、テレビ出演も多数あり、わかりやすい説明に定評がある

趣味：一宮の御朱印集め

座右の銘：見えている悪材料は悪材料に非ず 見えている好材料は好材料に非ず
つぶやき：花粉の季節になりました。元来私は花粉症がひどかったのですが、ここ数年は症状が軽くなり、喜んでます。もっとも、「軽くなったのは年をとって免疫力が低下しただけ」との声もあり、喜んでばかりもいられないようです。